

宮崎の農村振興プロセス優良事例集 【第3版】

～ 農業農村整備事業を通じた地域活性化 ～

③ やたて 矢立地区(椎葉村)

高冷地の特色を生かした希少価値の高い野菜を栽培



② しちのはえ 七野・八重地区(宮崎市)

基盤整備を契機に多彩な露地野菜の生産拡大と新たな担い手の育成



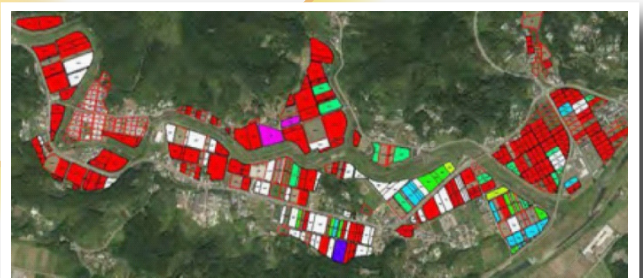
④ おおたばる 太田原地区(国富町)

湛水被害を克服し、安心できる営農の展開

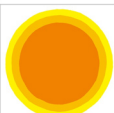


① よしのかた 吉野方地区(日南市)

基盤整備が後押しした農地集積と地域の活性化



平成30年7月



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県農政水産部

農村計画課

農村計画課 畑かん営農推進室

農村整備課

1 基盤整備が後押しした農地集積と地域の活性化

【吉野方地区（日南市）】

- 収益性の高い営農に取り組むための基盤整備を実施
- 耕作放棄地解消のため、法人を設立し6次産業化を展開
- 農地中間管理事業を活用し、担い手に農地集積・集約化を推進

未整備の生産基盤

取組前

- 農地のほとんどが10a区画と狭く、一部は未整備のため不整形
- 用排水路は一部土水路のため用水不足、排水不良に苦慮しており不安定な営農



狭小なほ場



整備前の土水路

取組内容

区画整理+用水路のパイプライン化 経営体育成基盤整備事業（H14～H21）

農地+施設+景観を守るための取組
吉野方向田地域環境保全活動団体 多面的機能支払交付金（H19～）

担い手への農地集積の促進 農地中間管理事業（H27～）

農地集積の加速化・地域の活性化

【作 目】 かぼちゃ、ピーマン、スイートピー、水稻、飼料作物など

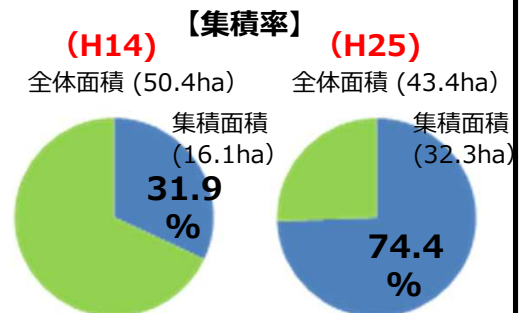
【担い手等への農地集積と営農効果】

- 事業実施前16.1haの集積面積が区画整理の実施により32.3haに集積
- 裏作の作付けが拡大（かぼちゃ 1.0ha → 9.0ha）
- 大型機械の導入が可能となり農作業が効率化
- ほうれんそうや小松菜などの減農薬栽培や加工品の開発など6次産業化の展開



【地域の活性化】

- ほ場整備を契機に、農事組合法人が設立され、収穫祭や農業体験行事などのイベントを開催し、地域内外の人々で賑いをみせ活性化に寄与



(収穫祭)

取組後

きっかけ

農地の未整備等による営農への支障や
高齢化の進行による担い手不足への懸念

耕作者の農地が点在し、営農の効率化のため
に農地の集積が求められていた・・・

Step 1 (H14~H21)

基盤整備事業の実施

- 区画整理による区画の拡大と農道・用排水路の整備
→用水路をパイプライン化し、維持管理の省力化を実現



区画拡大後の稲刈り状況

Step 2 (H17~)

農業組合法人を設立

- ほ場整備を契機に、農事組合法人『おびファーム』を設立

◆ 誰がどのように・・・?

水稻、ピーマン、スイートピーの
生産農家4名の方が、耕作放棄地の
増加を危惧し、農地集積を加速化さ
せるため法人を設立しました。

Step 3 (H19~)

多面的機能支払の取組

- 地域資源の保全管理を目的に地域内の農家や酒谷4区自治
会他7自治会、親子会などとともに活動

◆ 地域に与えた影響

収穫祭の開催や農業体験行事の開
催など、さまざまなイベントが開催
され地域の活性化に繋がっている。

Step 4 (H25~)

6次産業化への取組

- 生産した野菜をたくさんの方へPRしたいという思いから
『おびファーム』の直営店としてカフェを創設

◆ 「スムージーカフェ」の開店

観光名所の鉄肥城近く
に直売所と併設して
「スムージーカフェ菜菜
(なな)」をオープン。
自ら栽培したほうれん
そうなどの減農薬野菜を
使ったスムージーを販売。



Step 5 (H27~)

農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化

- 担い手への更なる農地の集積を促進
・ 『おびファーム』を中心とした担い手が水田の約7割を集積
(おびファーム：赤着色)
高齢化、後継者不足による耕作放棄地化を防ぐことにも貢献



今後の展望

水田の裏作で作付けした かぼちゃの生産額



出典: 宮崎県調べ

将来に向けて

- ☑ 儲かる農業の実現に向けて、法人経営の規模拡大や更なる6次産業化を推進
- ☑ 農地中間管理事業を活用し、更なる担い手への農地集積・集約化を加速化

2 基盤整備を契機に多彩な露地野菜の生産拡大と新たな担い手の育成 【七野・八重地区（宮崎市）】

- 防災・減災に併せて生産基盤の整備を実施し、収益性の高い作物を導入
- 安定した農業経営が可能となり、トレーニングハウスと連携して新たな担い手を確保



取組前

未整備の生産基盤

- 降雨の浸食を受けやすいシラス土地帯に加え、区画整理・排水路が未整備
- 天水に依存した不安定な営農

担い手不足

- 条件の悪いほ場や高齢化の進行により、担い手の不足

取組内容

排水路整備、区画整理 特殊農地保全整備事業（S58～H10）
畑地かんがいによる用水施設整備 畑地帯総合整備事業（H7～H24）

+

環境保全協議会の設立「七野かんきょう保全会」・「八重地区21世紀環境保全会」
 多面的機能支払交付金（H19～）

取組後



高収益作物の栽培と地域の活性化

【作 目】 だいこん、さといも、かんしょ、らっきょう、きゅうりなど

多彩な品目の作付を実現

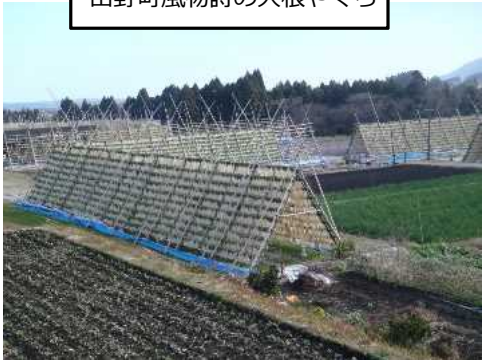
〔ハウス〕 いちご、かんきつ類など


〔露 地〕 らっきょう、ねぎ、キャベツなど

らっきょう いちご

田野町風物詩の大根やぐら





田野町におけるきゅうりの生産量

約2.6倍

平成17年 平成20年 平成23年 平成26年 平成28年
※JA宮崎中央田野支店胡瓜部会聞き取りによる

日本農業遺産の登録に向けて『日本一の干し大根と大根やぐら日本農業遺産推進協議会』を設立。

更なる農業振興と地域活性化が期待されます。

きっかけ

表土流亡による被害
農業用水の確保に苦慮

Step 1 (S56~H16)

ダム及び幹線水路整備の実施

- 天神ダムの整備（新規水源確保）
- ファームポンドやパイプラインの整備



Step 2 (S58~H10)

ほ場整備の実施

- 農地保全に併せてほ場整備や農道整備などの基盤を一体的に整備

Step 3 (H7~H24)

畑かん施設整備の実施

- 安定した用水供給が可能となり、らっきょうやねぎなどの多彩な品目の作付を実現

Step 4 (H19~)

多面的機能支払の取組

- 農地の維持管理のほか、景観形成のための植栽や外来種（ジャンボタニシ）駆除の活動を実施

Step 5 (H25~)

トレーニングハウスによる担い手育成

- JA宮崎中央がトレーニングハウスを設置し、新規就農希望者を受け入れて担い手を育成

Step 6 (H27~)

農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化

- 担い手への更なる農地の集積を促進
- 高齢化、後継者不足による耕作放棄地化を防ぐことにも貢献

今後の展望

将来に向けて

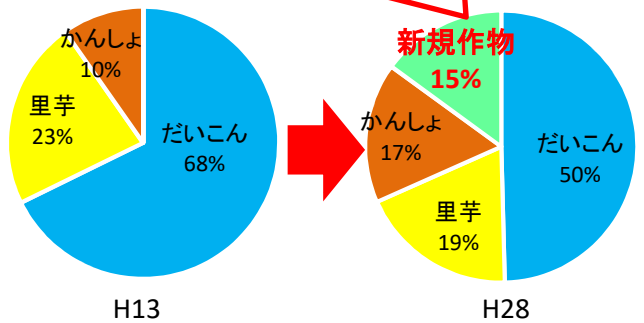
- ☑ 新規就農者の受け入れ
- ☑ 定時・定量・定品質の出荷を可能とする畑地かんがい営農による契約栽培の促進
- ☑ 農地中間管理事業を活用し、更なる担い手への農地集積・集約化を加速化

◆ 誰がどのように…?

地元が地域での話し合いを重ね、農地の防災・減災だけでなく、今後の営農計画を考え、併せて基盤整備を実施することで、生産性の向上を図りました。

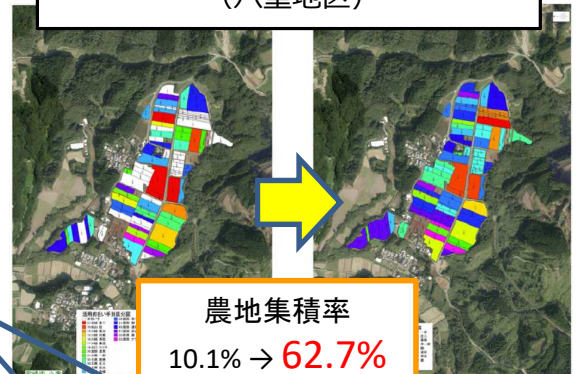
整備前後における主な露地野菜の作付割合

らっきょうやねぎ、キャベツなどの多彩な品目の作付が可能となりました。



出典:宮崎県調べ

農地中間管理事業を活用した取組 (八重地区)



農地集積率
10.1% → 62.7%

平成25年度から延べ14名が入植し、そのうちの10名が田野町内に新規就農しています。



③ 高冷地の特色を生かした希少価値の高い野菜を栽培

やたて
【矢立地区（椎葉村）】

- 農業の効率化を図るため農地造成を実施
- 風害、鳥獣害対策を行い、ハウス団地が形成され儲かる農業を実現
- 営農飲雑用水施設整備により定住環境を改善

条件不利な生産基盤

取組前

- 村全体の96%を山林が占める急峻な地形であり、農地がわずか1%に満たない地域
- 作付けの中心である夏秋期に雨風が強いため、大根等の重量野菜や飼料作物に限られた作物を栽培
- 農地は水はけが悪く品質が低下、また鳥獣被害（シカ）も多発し、年々作付けが減少



椎葉村内の農地

農地造成 ハウスの整備

新農業構造改善事業（S60～H5）
農業生産総合対策事業ほか（H9～）

取組内容

暗渠排水、防風ネット、獣害防止ネットの整備

中山間地域総合整備事業 ひえつき地区（H12～H20）

生活環境基盤の整備

中山間地域総合整備事業 矢立地区（H22～H30）

高冷地気候を生かした園芸団地の形成

【営農規模】ハウス45棟（2.8ha）

【経営体数】8戸

【作目】ほうれんそう、トルコギキョウ

【高収益作物の導入】

- 造成した農地にハウスを整備し、収益性の高い作物を栽培

【生産性の向上】

- 防風ネットや獣害防止ネットを整備し、ほうれんそうの出荷量が増加

取組後



増設したハウス



ほうれんそう



防風ネット

きっかけ

山間地のため、狭小な農地が点在し、非効率な農作業

大根等の重量野菜や飼料作物などの限られた作物を栽培

Step1 (S60~H5)

基盤整備の実施

- 当初大根栽培が中心であった当地域に、新農業構造改善事業により農地造成を実施

◆ 誰がどのように・・・?

地元、JA、役場が事業を契機に標高差を生かした、希少価値の高い夏秋ほうれんそうの導入を検討しました。

Step2 (H9~)

ハウス整備の実施

- 新規作物としてほうれんそうを導入するため、農業生産総合対策事業等によりハウス団地を整備
- 生産基盤の改善のため、中山間地域総合整備事業により、暗渠排水、防風ネット、獣害防止ネットを整備



ハウス団地が形成

Step3

高収益作物の導入

- 高冷地の特色を生かした施設野菜・花きを栽培
- 夏秋期のほうれんそうは九州で希少価値の高い野菜として、県内だけでなく鹿児島や福岡にも販路を拡大



ほうれんそう

Step4 (H22~)

生活環境基盤整備の実施

- 定住環境改善によるU・Iターン者獲得を目指して、中山間地域総合整備事業により営農飲雑用水を整備

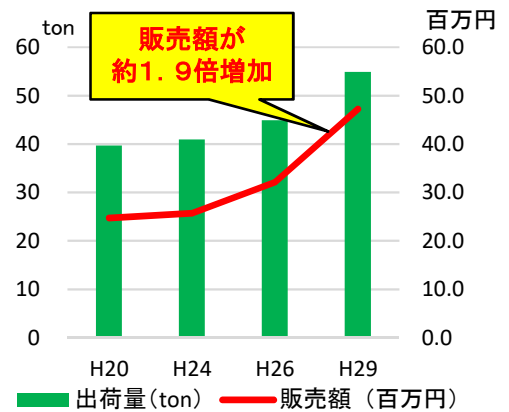


今後の展望

将来に向けて

- ☑ ほうれんそうの更なる規模拡大と選別機の導入による営農の効率化
- ☑ 市場へ『椎葉産ほうれんそう』としてのネーミング確立
- ☑ 新規就農者や後継者対策として、U・Iターン等による定住を促進

近年10カ年のほうれんそうの出荷量・販売額実績



品質の高いほうれんそうを栽培し、市場等への販売促進を行うことで、ほうれんそうの単価も上がり販売額増加に繋がっています。

4 湛水被害を克服し、安心できる営農の展開

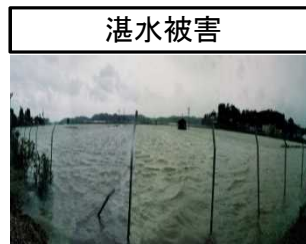
【太田原地区（国富町）】

- 湛水被害を軽減することにより、稲作からハウスによる営農への転換
- 農業の魅力を発信するため、法人設立や直接販売を展開

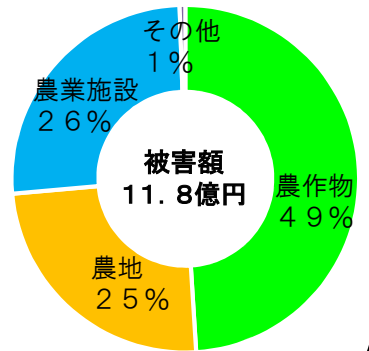
湛水被害により農家経営が不安定

- 宅地造成による流域変化や、近年の異常気象に伴う降雨量の増加により、農地への湛水被害が拡大
- 慢性的な湛水被害により、高収益作物の導入が困難

取組前



平成5年7月豪雨の被害内訳



出典：事業計画書

取組内容

排水施設整備、湛水防除施設

工業導入関連農業基盤整備事業（S49～S50）
排水対策特別事業 宮王丸地区（H5～H9）
湛水防除事業 太田原地区（H11～H14）



環境保全協議会の設立「宮王丸農地水の会」

多面的機能支払交付金（H19～）

取組後

高収益作物の増加と次世代を担う農家の就農

【作 目】 水稻、ピーマン、きゅうりなど

【湛水防除による防災減災】

- 排水機能の向上により農地の湛水被害が減少し、農業経営が安定

【高収益作物の導入】

- 湛水被害の軽減により、にらやピーマンなどの施設園芸が増加

【担い手・人材育成】

- パクチーやピーマンを主体とした法人の新規参入

【出荷体制の確立】

- 隣接の宮崎市に新設した直売所では、品質の高い野菜を販売し、売り上げが新設時より約1億円増加



きっかけ

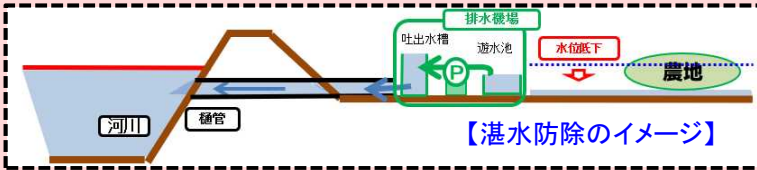
排水施設が未整備のため、豪雨のたびに湛水被害が発生

水稲が主体の作付となり、ハウスによる営農が困難であった・・・

Step 1 (H5～H14)

排水施設整備による湛水防除の実施

- 排水路の整備、排水機場の整備により農地の湛水被害を軽減



◆ 誰がどのように・・・？

地元農家と土地改良区が中心となり県や町等の関係機関と連携し事業を推進しました。



排水機場を維持管理をされている地元の方々

湛水被害が少なくなり、安心して営農できます！

Step 2 (H14～)

高収益作物の導入

- 湛水被害の軽減により、水稲からピーマンやらなどの施設園芸へ転換

◆ なぜ直売所を作った？

国富町の生産者6名が中心となって、「農産物を通して農の大切さや食の大事さを届けたい」という思いでつくりました。



Step 3 (H19～)

多面的機能支払の取組

- 多面的機能支払交付金の活動組織として「宮王丸農地水の会」を設立
- 地域で農地や農業用施設における保全の活動を実施

～新規参入した農家～
『農業を守りたい』、
『農業の魅力を発信したい』という思いから食育活動に取り組んでいます。



Step 4 (H25～)

直接販売の展開

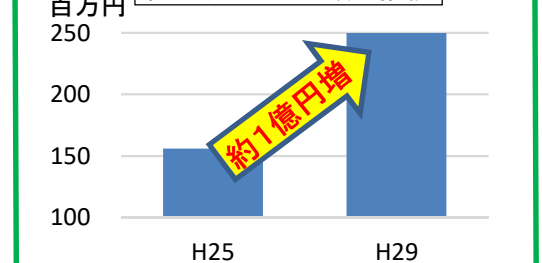
- 生産者と消費者を繋ぐ架け橋として、直売所を新設
- 消費者と直接向き合い、ニーズを汲み取り信頼関係を構築

今後の展望

将来に向けて

- ✓ 地域農業の維持・発展に向けて、担い手へ農地集積を推進
- ✓ 儲かる農業の実現に向けて、6次産業化を展開し高付加価値化の推進
- ✓ 水田輪作作物や機械化体系の導入により、ベストミックスの実現

直売所売り上げ額の推移



ひなたのチカラ。

ひなた。それは漢字で書くと「日向」。
ふりかえれば、宮崎は神話の時代から
「日向」と称されてきた土地でした。

ひなたは、ゆったりした時間をつくる。
ひなたは、人柄をあたたくする。
ひなたは、太陽の恵みで豊かな食を生み出す。
ひなたは、人々に希望と活力をもたらす。

いま、この国に必要なのは、
そんなひなたのチカラだと思う。

宮崎を、日本のひなたのような存在へ。
そう願う私たちの取り組みが始まります。



◆ 問 合 せ 先 ◆

宮崎県農政水産部	農村計画課	0985-26-7125 (直通)
〃	農村計画課 畑かん営農推進室	0985-26-7129 (直通)
〃	農村整備課	0985-26-7143 (直通)
中部農林振興局	農村計画課 国営・計画担当	0985-26-7282 (直通)
南那珂農林振興局	農村整備課 計画担当	0987-23-4314 (直通)
北諸県農林振興局	農村計画課 国営・計画担当	0986-23-4514 (直通)
西諸県農林振興局	農村計画課 国営・計画担当	0984-23-4187 (直通)
児湯農林振興局	農村計画課 国営・計画担当	0983-22-1367 (直通)
東臼杵農林振興局	農村計画課 計画担当	0982-32-6137 (直通)
西臼杵支庁	農政水産課 農村計画担当	0982-72-2108 (直通)